

大浜埼灯台

S=1/100

広島県因島市大浜埼

灯台の大きさ

高さ：建物 地上から9.3m

光の高さ 水面から74.5m

光の強さ：12万カンデラ

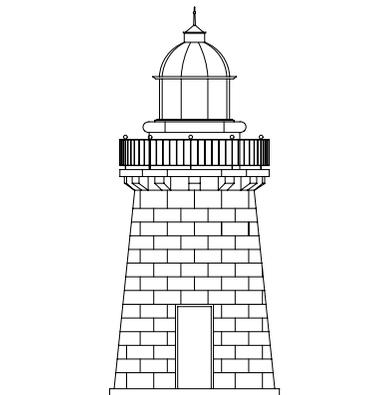
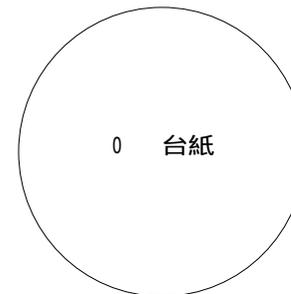
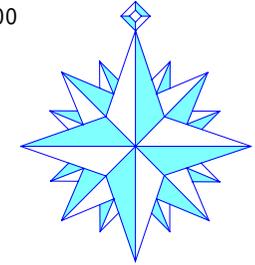
光が届く距離：11.5海里(約21.3km)

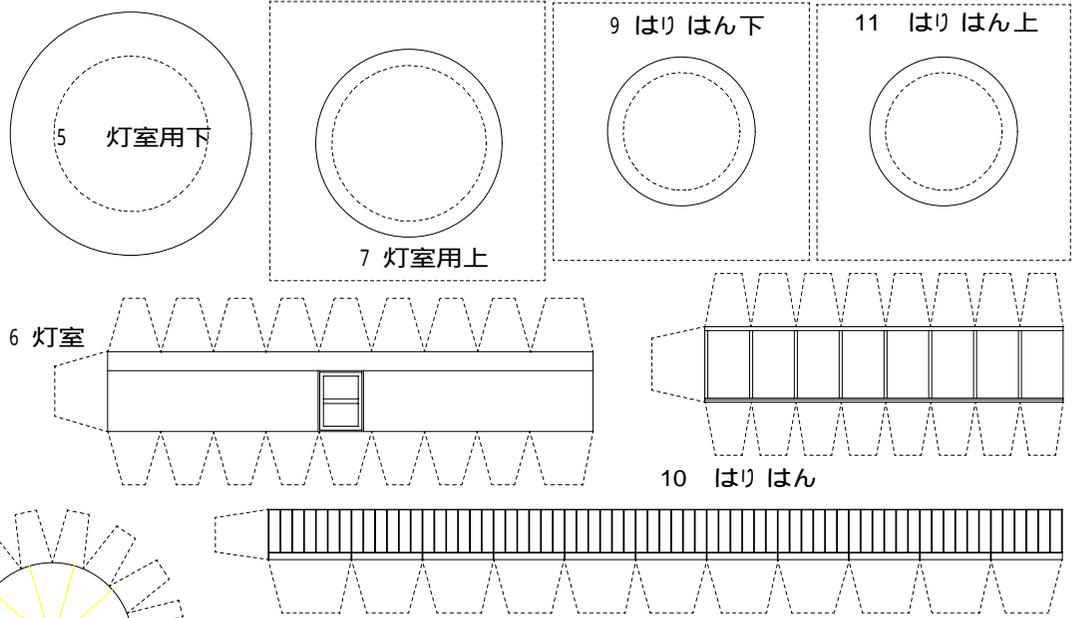
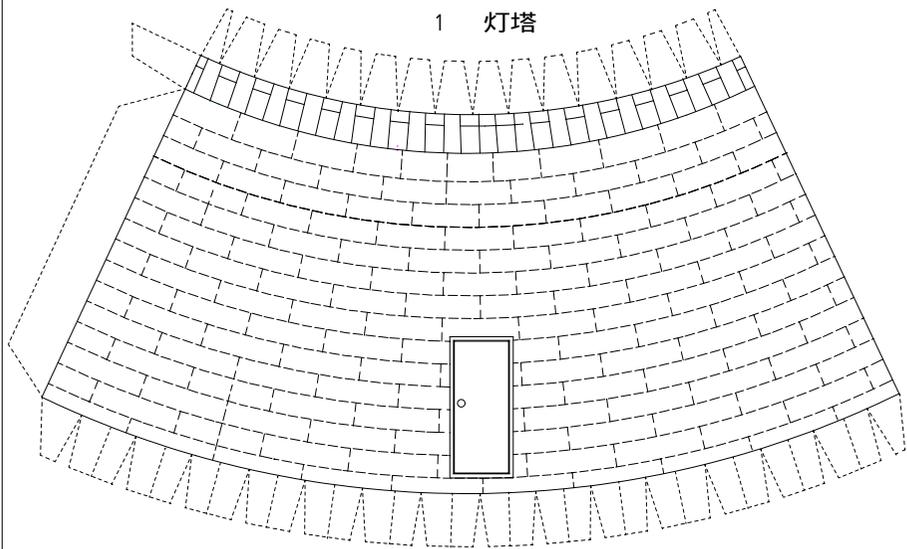
光り方：3秒間白い光が点灯し次の3秒間消灯を繰り返す
(明暗白光 明3秒暗3秒)

設置年月日：明治27年5月15日

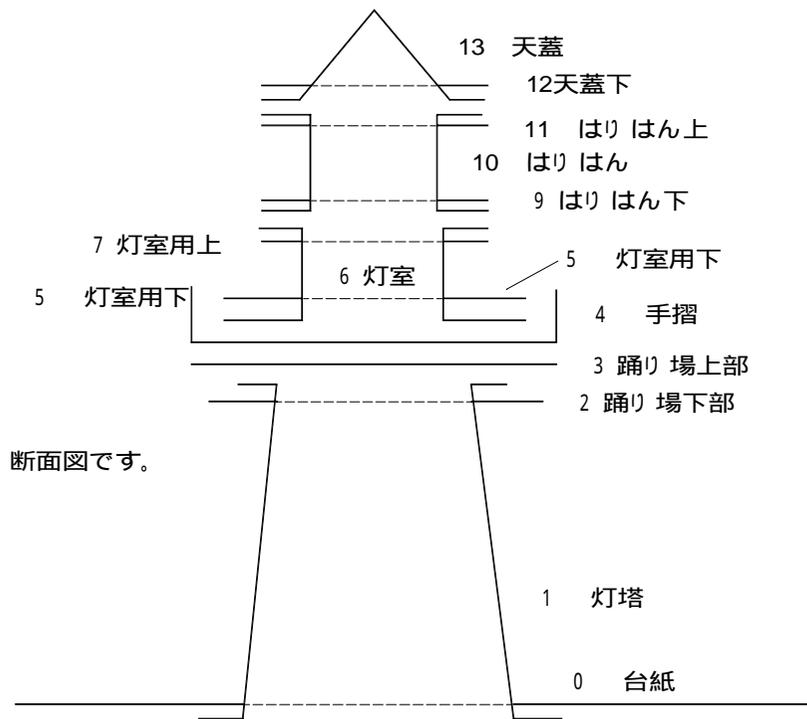
大浜埼灯台は明治の日本が大きく動いた時代に海上輸送の大動脈である瀬戸内海の難所来島海峡を迂回するために百貫島灯台や小佐木島灯台、高根島灯台と共に三原瀬戸航路の安全を守るために設置された灯台のひとつです。

明治43年から昭和29年まで、急潮流の海峡での事故を防ぐため、夜間は潮流信号として使用され、現在はまた灯台として使用されています。

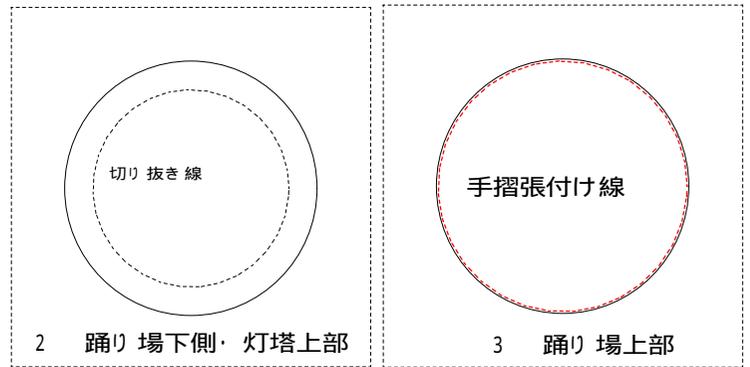
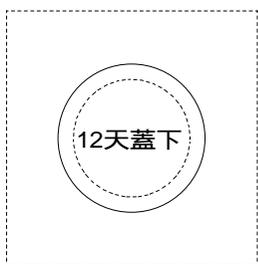
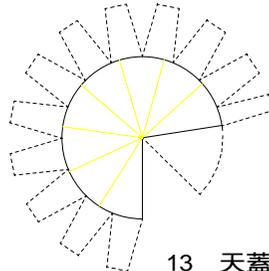




大浜崎灯台の作り方(例)
それぞれの部品を下の図のように貼り付けていきます



断面図です。



この線で四角く切り取ります。
次に点線の円を切抜き、13の天蓋
を円錐型に糊付けした後、下側のノ
切り抜いた円の下に通し、ノリシロ
を外側に折り曲げ糊付けします。
乾いたら円に沿って切りとります。
ほかも同じで、左の図を参考にしてください

